

研究名	子宮癌放射線治療における骨量の変化と VitaminK2 製剤(メナテトレノン製剤)による骨量減少抑制効果の検討
研究責任者名	所属 広島大学大学院医系科学研究科放射線腫瘍学 職名 教授 氏名 永田 靖
研究期間	研究実施期間：2019年11月25日～西暦2022年3月31日 研究対象期間：2000年1月1日～2011年12月31日
対象者と対象となるデータ	子宮癌患者、放射線治療（全骨盤外部照射）施行例 「子宮癌放射線治療における骨量の変化と VitaminK2 製剤(メナテトレノン製剤)による骨量減少抑制効果の検討」に参加していただいた患者さんの2000年1月1日～2011年12月31日までの医療情報。
意義・目的	これまで、放射線治療による骨密度の低下の報告はなされていましたが、放射線治療患者に対するVitaminK2製剤(メナテトレノン製剤)による骨密度低下の抑制効果については明らかにされていませんでした。今回、子宮癌放射線治療における骨量の変化をメナテトレノン製剤投与群と非投与群で比較検討し、メナテトレノン製剤による骨密度低下の抑制効果について臨床的意義を後方視的に検討します。
方法	本研究は、既存の診療録（カルテ）情報を後ろ向きに調査します。 項目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別、年齢、疾患名 ・ 骨密度の経時的変化 ・ 生化学検査（骨代謝マーカー）データ ・ CT等による不全骨折の有無
共同研究機関	国立病院機構福山医療センター 責任者 兼安祐子
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科放射線腫瘍学 西淵 いくの
個人情報の保護について	個人情報の取扱いについては、他人に漏れないように、慎重に行います。解析を開始する前に、診療情報からあなたの住所、氏名などが切り離され、代わりに新しく符号がつけられます（匿名化）。あなたとこの符号とを結びつける対応表は、研究責任者が厳重に保管します。こうすることによって、データの解析を行う者には符号しかわからず、誰の情報を解析しているのかわかりません。また、あなたが特定されないように匿名化して、学会や専門誌に発表することがありますが、個人が特定されるような形で公表されることはありませんので、プライバシーの侵害などの不利益を被ることはありません。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問い合わせ	担当者：村上祐司

せ・窓口	メールアドレス： yujimura@hiroshima-u.ac.jp 電話番号：082-257-1545 広島大学大学院医系科学研究科放射線腫瘍学
研究の資金源	運営費交付金